

※本紙の英語版・中国語版は、当協会HPからダウンロードできます。

平成23年5月20日発行号

この度の東日本大震災により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。福島県の現状や、県内の国際交流団体や外国出身県民の様子などをお伝えします。



## 福島の今



津波で大きな被害を被った相馬港1号ふ頭付近 (相馬市 2011.4.12 撮影)



観光客で賑わう会津鶴ヶ城 (会津若松市 2011.4.26 撮影)



通勤通学者で混雑する福島駅前 (福島市 2011.5.9 撮影)

東日本大震災から2カ月が経ち、広大な福島県は様々な姿を見せている。日常の生活を取り戻した福島市。第一原子力発電所から20~30km圏内にあるため住民とともに役場機能も移転し、新たな土地で懸命に生活再建に取り組む大熊町や双葉町他6町村。大津波で壊滅的に破壊されながらも、復興に動き出している相馬市。原発事故が障壁となり、復旧、復興がままならない南相馬市。今回新たに避難を指示された飯舘村。風評被害で観光客数が落ち込んでいる会津若松市。そしてこの風評被害は、観光地会津だけでなく全県に向けられ、様相をさらに複雑にしている。

一方で、明るいニュースも次々と入っている。東北新幹線の全線運転再開、満開の桜に賑わう会津鶴ヶ城、全国に広がる福島産品の応援店、避難所から自宅に戻る人

たち、母国への一時帰国から福島に戻りつつある外国人など、県民に「福島は負けない」という復興への希望を届けてくれる。そして日本中、世界中からの支援の手は、「福島は一人でない」という安心感を届けてくれる。

私たちは、立ち止まってははいられない。日常を取り戻した地域から元気になり、その元気を復旧、復興が必要な地域に届けよう。「Fukushima Crisis」のイメージを「元気なふくしま」に置き換え、日本中、世界中からの支援に伝えていこう。当協会は、外国語での災害対策に力を注ぎながら、各地で再開しつつある国際交流活動を支援していく。

平成23年5月9日 専務理事 渡辺幸吉



## 福島県内各地の環境放射能測定値(暫定値)の推移

(福島県のホームページから抜粋)

福島県HP (福島県国際交流協会HPにリンク) では、「環境放射線測定結果(暫定値)」や「飲料水(水道水)環境放射能測定結果(暫定値)」、「農産物被害等関連情報」など様々な被害状況即報を日本語、英語、中国語で随時更新しています。(県国際交流協会HPでは、その一部を、タガログ語、韓国語、ポルトガル語で更新しています)

<http://www.worldvillage.org/>



※平常値は、平成21年度放射線レベル調査結果です。

単位：マイクロシーベルト/時間

日時	福島市	郡山市	白河市	会津若松市	南会津町	南相馬市	いわき市平
(平常値)	0.04	0.04-0.06	0.04-0.05	0.04-0.05	0.02-0.04	0.05	0.05-0.06
2011.4.1 9:00	2.44	2.24	0.73	0.24	0.08	0.92	0.58
2011.4.15 9:00	1.92	1.75	0.73	0.19	0.08	0.62	0.35
2011.5.1 9:00	1.61	1.51	0.61	0.18	0.08	0.52	0.26
2011.5.13 9:00	1.46	1.36	0.60	0.17	0.08	0.49	0.22
福島第一原発からの方向及び距離	北西 約63km	西 約58km	西南西 約81km	西 約98km	西南西 約115km	北 約24km	南南西 約43km

※測定地点は、福島市は県北保健福祉事務所、その他の市町は県合同庁舎敷地内です。



### 後藤キャサリンさん(福島市、フィリピン出身)

当協会タガログ語通訳員である後藤さんは、震災直後から自主的にフェイスブックを通じて、福島県の被災状況や当協会の地震情報センターの情報などを国内外に流したり、ボランティアでフィリピン大使館と県内にいるフィリピンの方々との連絡調整役を担ったりしていました。後藤さんは、一人でも多くの人たちがデマに惑わされず正しい情報を得て、冷静に行動してほしいと思ったそうです。



### 船と翼の会ふくしま(福島市)

内閣府青年海外派遣事業で派遣された福島県出身者で組織するこの会は、震災後いち早く様々な団体と連携して、避難所に物資を運んだり炊き出しを行っています。また、文部科学省ポータルサイトを活用して学校に必要な物資調達のサポートを行うなど、ボランティア精神をベースに、これまでの活動の中で培ってきたネットワークを生かして、きめの細かい支援活動をしています。

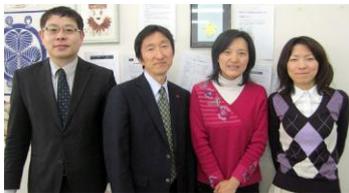


<http://www.iyeo.or.jp/fukushima/>

### 会津若松市国際交流協会(会津若松市)

震災当時は会津若松市も大きなゆれがありましたが、幸いにもガス、水道、電気といったインフラに支障はありませんでした。そこで、いち早く地元のFMラジオ放送局と協力して英語での情報発信を行う一方、被災した当協会から県内の市町村国際交流協会への情報の送信を代って行っていただきました。

観光地である会津は、震災で直接的被害は少なかったのですが、風評被害で観光客数が大きく落ち込んでいます。元気な会津を取り戻すため、地元の外国出身者に、今の会津の姿をそれぞれの母国に発信してもらっています。



<http://awia.jp/>



### お知らせ

#### 『外国語による地震情報センター』

当協会では、英語と中国語で、震災に関わる様々な相談に応じています。その他の言語については、他の相談機関をご紹介しますので、お気軽にお問い合わせください。

- 時間：毎日9時～16時
- 電話：024-524-1316(専用)、024-524-1315
- FAX：024-521-8308
- E-mail：info@worldvillage.org
- URL：http://www.worldvillage.org/

#### 『国際交流・協力団体災害支援助成金』

当協会に登録している県内の国際交流・協力団体等の皆さんが行う支援活動に対して、上限10万円の助成を行っています。

詳しくは当協会HPをご覧ください。

- ~~~~~
- 第二次締切 5月20日
  - 第三次締切 6月15日
- ~~~~~



### 応援プレゼントが届けられました



台湾は、1999年9月21日に発生した地震で、死者3千人を超える大きな被害を被りました。今回、

この台湾地震で大きな被害があった南投県にある明潭国民中学校の生徒さん一人ひとりからメッセージとプレゼントが福島県に寄せられました。当協会ではさっそく中国語で書かれたメッセージを中国語サポーターの方々に翻訳していただき、この中学校と同規模校である福島市立立子山小学校に届けました。立子山小学校では、国境を越えた台湾のお友達からの心温まるメッセージとプレゼントに感激していました。

### 発行者

(財) 福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町 2-1

福島県庁舟場町分館 2階

☎024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

URL http://www.worldvillage.org